

# 加賀市のごみ問題を 解決するために!!

加賀市民が出すごみを処理するために毎年かかっているお金

なんと

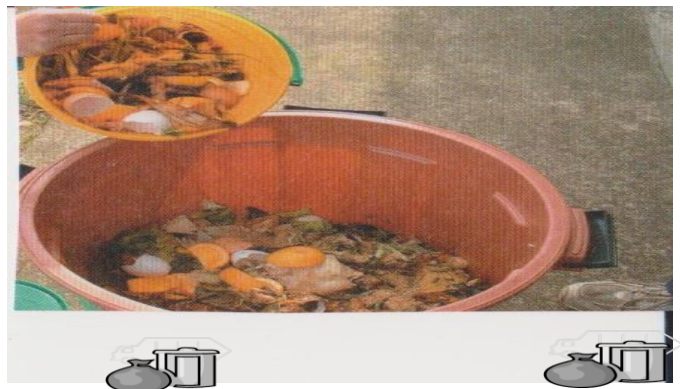
1年間で **9億5256万4000円** (H23年度)

毎年、毎年、10億円近い市民の貴重な税金がごみを燃やしたり、埋めたりするなどの費用に使われ続けています。

しかし

この費用は、皆さんがごみそのものを増やさないこと  
によって、大きく減らせるお金です！

市民一人一人が、ごみを減らせば、毎年かかっている  
この、**9億5256万4000円** は、削減できます。

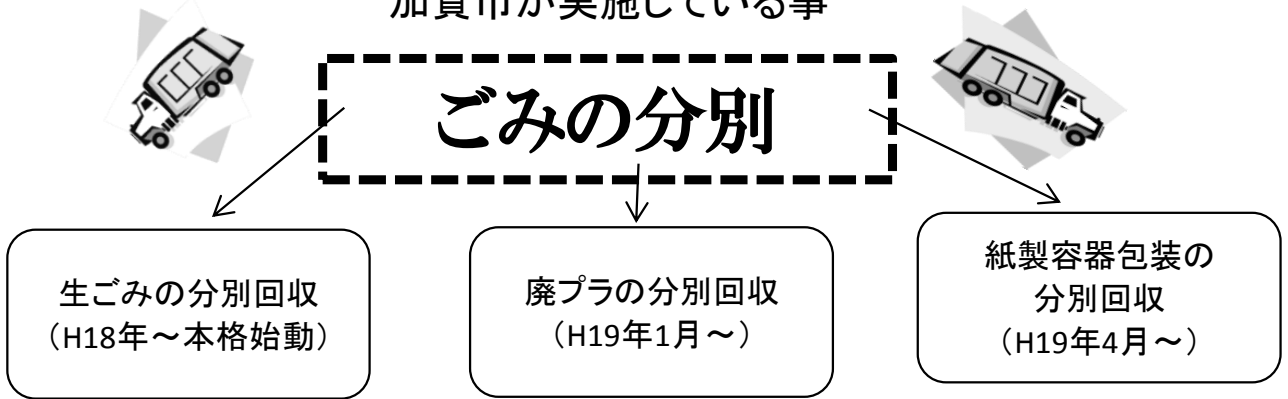


市民が、たくさんごみを出し、それを燃やして処理し続ける…  
…灰になってしまうことに貴重な税金を使いつづけるよりも

市民一人一人が、ごみを減らして、それによってういたお金を、「雇用  
対策や子育て支援、老後支援」へ振り向けていきませんか！

# ごみをへらす有効なとりくみ

加賀市が実施している事



\* 50年前、家庭から出る「ごみ」は、ほんの少しの《生ごみ》でした…。そして、その《生ごみ》も、堆肥や飼料としてつかわれていました。しかし、その後、  
<大量生産・大量消費>の時代が到来し、家庭から大量のごみが出されるようになりました。  
新たにごみの出現は、「有害なダイオキシン問題」を生みだしました。加賀市でも、その対策として、  
H8年、態坂町に、高温処理可能な大型焼却施設(美化センター)を**92億820万円**かけてつくり、今日まで処理し続けています。…が、

H18年に、あってはならないバクフィルターの破損事故が、このごみ処理施設で起こりました。(ご記憶の方も、多いと思います。)

この、バクフィルターの破損によって、加賀市は焼却炉を停止。焼却炉を停止している間⇒加賀市民が出したごみは、近隣の小松市や、金沢市、白山市へもって行って処理してもらいました。

この時、他市からの指摘によって「加賀市から持っていった燃えるごみが、あまりにも分別されておらず、ごみ捨てマナーが守られていないことが露呈しました。」

# 「分ければ資源」の徹底へ

その後、  
このままではいけないと、分別収集に力をいれております。

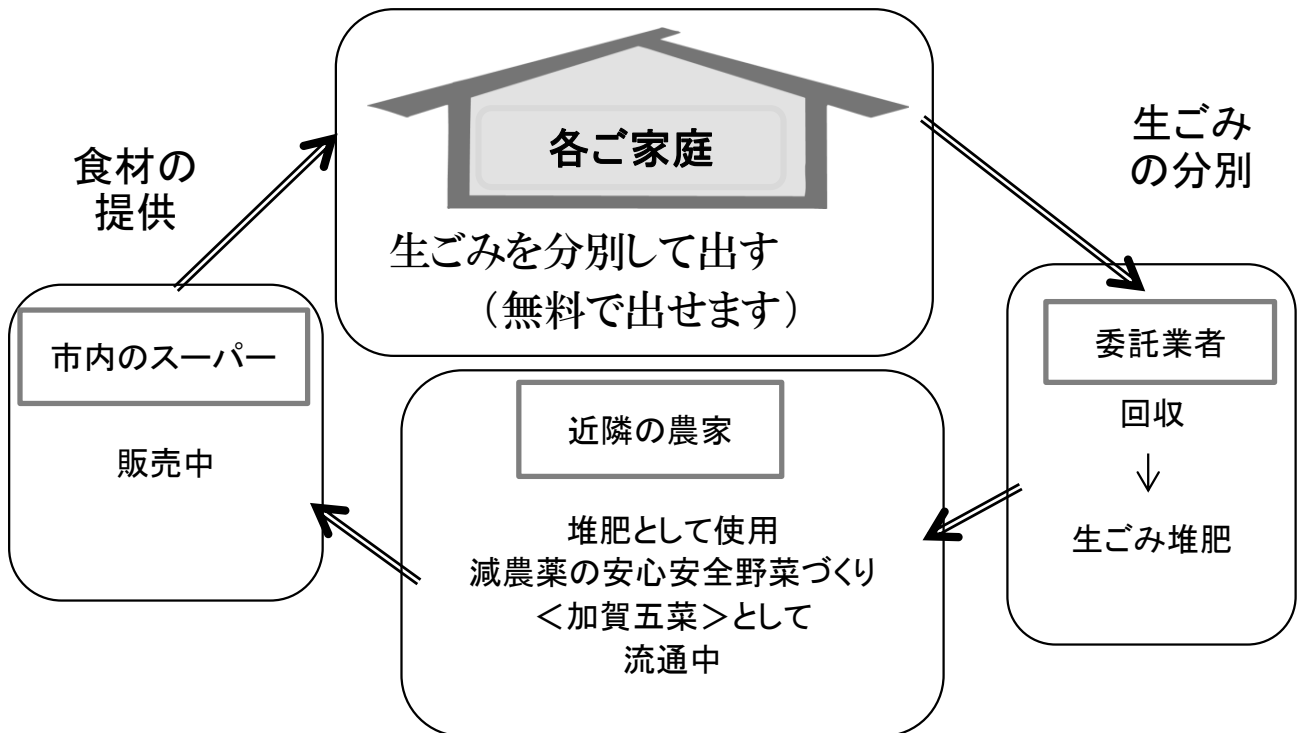
## ◎ 加賀市から『燃やすごみ』をへらすために ◎

### 1 生ごみ(分別)堆肥化回収<週1回収集>

加賀市では、各地区で、女性団体やまちづくり推進協議会などが中心となって、生ごみステーションを設置して、週1回生ごみの分別回収を行っています。

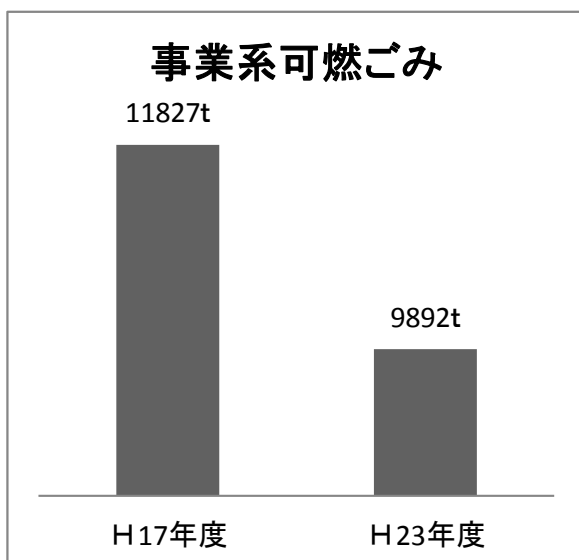
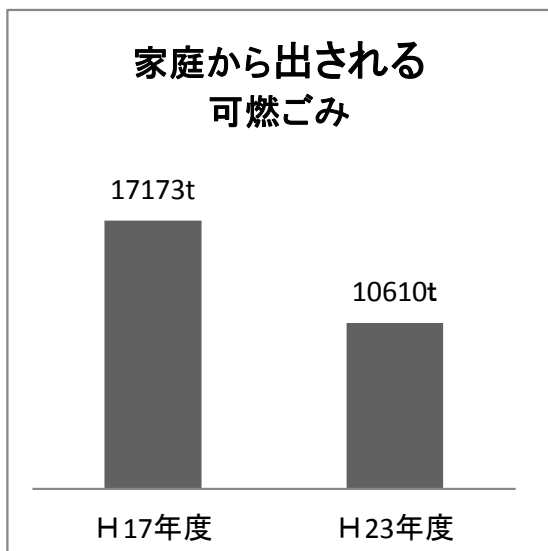
≪H23年度は、104トンの生ごみが家庭から分別して出され、又、それ以外に、市内の企業や学校なども、分別にとりこんでおり、市全体では、270トンの生ごみが堆肥に生まれ変わっております。≫

## 加賀市の生ごみリサイクル



## 生ごみ堆肥化による大きなメリット

- (A) 【生ごみ】を、「もやすごみ」としてではなく、【生ごみ】として、分別して出させていただくことによって、ごみ処理施設で「もやすごみ」の量が大幅に減っています。



ごみの分別によって、市内から出される可燃ごみが大幅減少！  
上記のグラフの成果は、現状では、一部の市民がごみを分別して出しはじめたことによって、削減できたことです

ということは、全ての市民がごみを分別して出すようになれば、ごみそのものが減り、今、処理にかかっているお金を、もっと削減できます。

現在、市民の分別のとりくみによって「もやすごみ」が減ったので、市内に2つあったごみ処理施設を1つにしても大丈夫になりました。

⇒ **山中美化センターを使う必要がなくなった**

**そのため、毎年、7000万円近い費用を節約！**

- (B) 現在、熊坂の美化センター(ごみ処理施設)の稼働だけで全ての燃えるごみを処理していますが、生ごみを燃やして処理する量が減ったことによって、炉の負担もやわらいでいます。

なぜか？

【生ごみ】は水分が多く、ごみの焼却には炉の負担が大きく、かつ炉を傷めます。

しかし、

【生ごみ】を「もえるごみ」として処理しなければ、炉を傷めることもなく、その分、炉の延命化につながります。

ごみ処理施設の延命化がはかられ、長く使うことができれば加賀市は財政上、大変助かります！

熊坂のごみ処理施設はH8年に  
本体工事に **92億820万円** かかりました。

もし、

市民がどんどんごみを出し続け、  
この施設が傷んで使えなくなっていたら、  
新しい施設をつくらなければなりません。

それには、又100億円近いお金が必要になります。 (;-\_-)



…そんなお金を、今の加賀市民が、負担できるでしょうか

今の、ごみ処理施設を末永く大切につかうことは、結局、市民の負担をへらすことにつながります。

(C) 生ごみは分別して出せば……▶無料で回収しています！

つまり、

生ごみを分別してだせば………  
↓

有料のごみ袋を使う必要がなく、家計に大助かりとなります！

では、現在、加賀市での生ごみ分別状況はどうなっているのでしょうか？

(次の地区別実施状況を参照してください)

一般家庭の一部、全ての学校、市内の企業の一部がとりにくんでいます。

～ 一年間の成果 ～

一般家庭	104. 2t
学校・保育園	76. 6t
市内企業	89. 2t

生ごみを分別して戴いている結果

**約270トン**の生ごみが

燃えるごみとして処分されることなく  
**堆肥に生まれ変わっています。**

\*では、具体的に、【生ごみ】の分別堆肥化回収は  
どれだけ実施されているのでしょうか？

家庭ごみの地区別分別回収結果 (kg)

	H18年度	H23年度
山代	13,328	33,396
大聖寺	4,061	19,704
動橋	1,742	14,877
片山津	648	7,373
作見	1,503	6,678
東谷口	413	4,584
三谷	322	3,517
橋立	373	3,177
分校(高塚のみ)	295	3,006
山中温泉	9	2,338
三木	未実施	1,537
南郷	未実施	1,523
金明	未実施	1,023
湖北	未実施	629

○ この6年間で、生ごみ分別出しを行いはじめた地区は、確実に増えています。そして、その事が燃やすごみを減らすことに繋がっています。

・しかし、上記の表をみて分かりますとおり、まだ実施していない地区が、かなりあります。

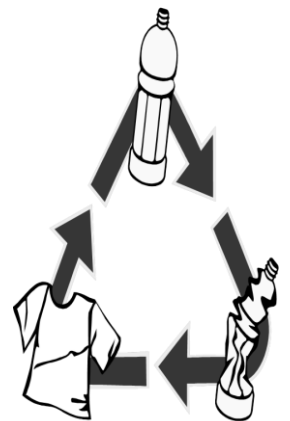
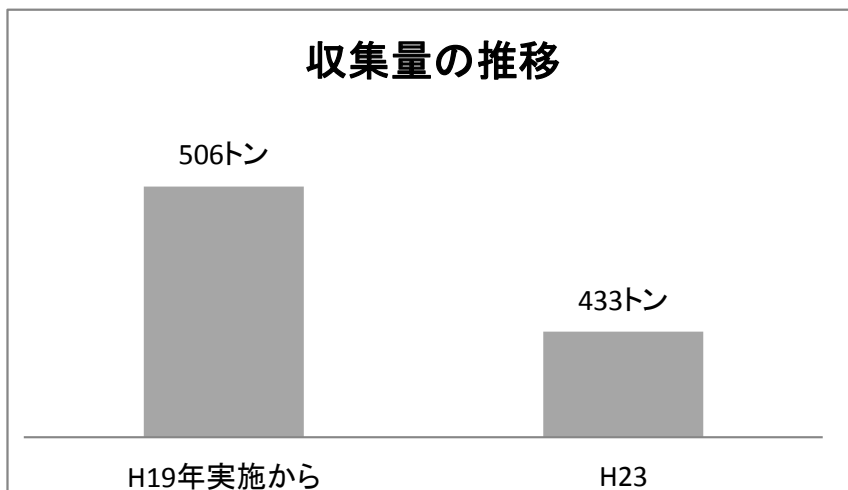
## 《まだ、実施していない皆さんへ》

- ・ 生ごみステーションは、希望する地区ごとに、市に申請すれば、設置出来ます。
- ・ 皆さんも、生ごみを分別し、良い環境と家計の節約に、取り組んでいただけませんか。・・・よろしく願い致します。

### ② 廃プラ(分別)回収<隔週1回収集>

加賀市では、廃プラ(プラスチック製容器包装)は分別して出せば、無料で回収しています。

そして、回収した廃プラは、市内で中間処理した後、再生処理して、資源として生まれ変わっています。



#### \* 課題 \*

廃プラ以外の不適正なものが含まれています=11.7%【異物混入】

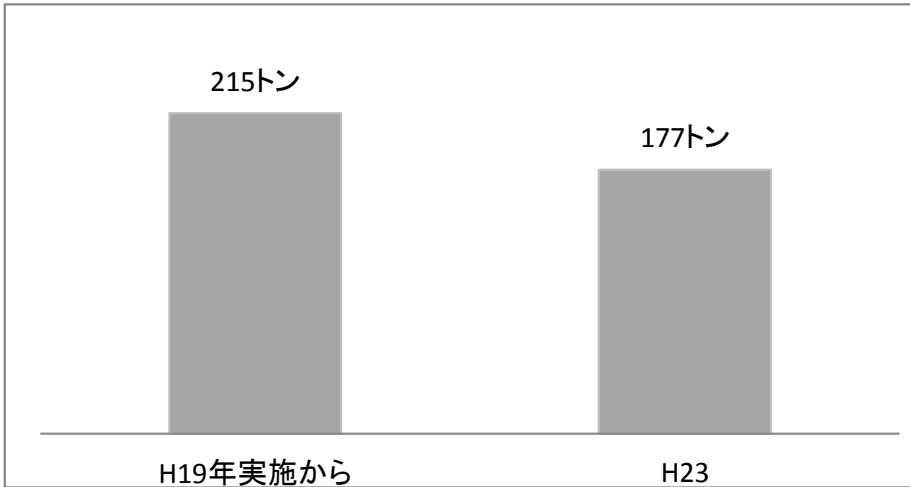
まだ、廃プラ以外のものを一緒に袋に入れて出している家庭があります。  
異物の選別をしないと資源化できません  
異物が混ざっていれば、それだけ。選別費用がかかります。

皆さんのちょっとした気くばりが、余計な税金の無駄をなくします！

### 3 紙製容器包装(分別)回収<隔週1回収集>

各地区の資源ごみの日にあわせて無料収集  
(包装紙やお菓子の紙箱、たばこやティッシュの箱などです。)

#### 収集量の推移



#### ごみの分別によってもたらされるメリット

- ・ 環境に良い(燃やさないから、二酸化炭素がでない)
- ・ ごみ処理費用の節約(節約できたお金を雇用対策等に使おう)
- ・ 分別して出せば、市民は有料ごみ袋を使わず、無料でだせる。
- ・ 加賀市ごみ処理施設の延命(エネルギーの節約にも)
- ・ 燃えカスが減るので、埋め立て処分場も長く使える。

など

## 室谷 ひろゆき 議会報告

市役所 加賀市大聖寺南町二41 72-7965(代)  
住所 加賀市山代温泉14の67 77-7839

2012年  
12月号

(討議資料)